

令和7年度 第2回学校保健委員会だより

令和7年12月24日 桐生市立西小学校

12月17日（水）に学校歯科医の先生、また保護者の方々にご参加いただき、第2回学校保健委員会を実施しました。今回は、東部教育事務所の主任指導主事にもご出席いただき、ご指導ご助言をいただきました。

【校長あいさつ】

本日は、ご多用の中、ご出席ありがとうございます。

まず、本校の児童保健委員会の取り組みについて代表児童が発表いたします。協議のところで感想等いただけたらと思います。

次に、今年度、文部科学省から「がん教育」の指定を受け、9月に外部講師による講演会や関係機関の方々へ授業公開を行いました。その際の様子について、ビデオ等で紹介します。

専門家の先生方からの指導助言をいただき、また、保護者の方からもご意見等をいただき、今後の学校保健活動を充実していきたいと思います。有意義な会議となりますようご協力お願ひいたします。

＊＊協議の様子＊＊「がん教育について」

学校から帰って来て、家庭でも話題になりました。学んだことが心の残り、いい機会と感じました。

子どもから親を心配し、「気をつけてね。」などの言葉がありました。子どもを通して私たちも意識できました。

「がん」にならないようにするにはどんなことに気をつけたらいいのか、なってしまっても治療して、元気に生活できるということも知れてよかったです。



身近な病気であることを感じています。がん教育の指定は今年度で終わりますが、今後もできる形で継続できるとよいと感じました。

※6年生の保健体育の教科書「病気の予防 生活習慣病の予防」の中で「がん」という病気についてふれるところがあります。

【今後の学校保健委員会について】

来年度以降の学校保健委員会について、開催時期や内容について検討して参ります。貴重なご意見をいただきました。今後も充実した学校保健委員会となりますようよろしくお願いします。



＊＊指導・助言＊＊

【学校歯科医】

テレビで話題になると、患者さんがかなり増えます。小学生の頃から「がん」について正しく理解し、過度に怖がりすぎず、健康に気をつけながら過ごしてほしいです。



【東部教育事務所 主任指導主事】

保護者の方にも熱心に協議していただきまして、また、「がん教育」の取り組みが、家庭でも話題になったことを知り、西小の「がん教育」への取り組みについて改めて感謝申し上げます。「がん教育」の目標でもある「命の大切さ」「人の大切さ」について考える取り組みであったと思います。西小の取り組みを持ち帰り、今後も県内に広く周知し、「がん教育」を推進していきたいと考えています。

また、県教育委員会では、「自立した学習者（自分で考えて、判断して、行動する）」の育成に努めていますが、児童保健委員会の取り組みが能動的ですばらかっただと感じました。ありがとうございました。



児童保健委員会による
「熱中症予防教室」の様子

【PTA会長あいさつ】

児童保健委員会の発表がとても分かりやすく、西小の保健衛生の意識の高さを感じました。

「がん教育」の指定は今年度かぎりとのことです、引き続き「がん教育」について子どもたちが考える機会を与えていただき、できることについて取り組んでいってほしいです。

本日、内容の濃い話し合いができたと思いますので、今後もよろしくお願いします。

体調には十分気をつけてください。ありがとうございました。



児童保健委員会による常時活動



【参加していただいた方からの感想】

☆子どもたちが自分たちで考え、行動していることに驚きました。



☆「がん」について考える機会を与えられたのは、子どもにとっても、家族にとっても、有意義だったと思います。自分が子どもの頃には学べなかつた内容なのでうらやましくも感じました。親も学びの場に希望者は参加できるとよいと思います。

☆5年生の授業の中で「がんにかかった方が身近にいたら自分でできること（資料：がん教育通No.2）」の子どもたちの感想を見て、感動し、涙が出ました。

